



第40回

全国豊かな海づくり大会

～ 食材王国みやぎ大会 ～

よみがえる 豊かな海を 輝く未来へ

基本計画書



まぐろ



かつお



さんま



ぎんざけ



かれい



はぜ



あゆ



かき



あわび



ほや



のり



プラス2



わかめ

みやぎのさかな10選+2

(魚の絵/岩渕欣治氏 画家 石巻市在住)

第40回全国豊かな海づくり大会
宮城県実行委員会

目 次

I 全体概要	
1 大会の概要	1
2 開催意義	2
3 基本理念	2・3
4 基本方針	4・5
II 大会計画	
1 全体計画	
(1) 計画概要	6
(2) 会場配置	7
(3) 行事計画	8
2 式典行事	
(1) 会場配置	9
(2) 行事計画	10・11
3 海上歓迎・放流行事	
(1) 会場配置	12
(2) 行事計画	13~15
4 関連行事	
(1) 会場配置	16
(2) 行事計画	16
5 映像中継計画	17
6 その他の行事	
(1) 絵画・習字優秀作品御覧	18
(2) 歓迎レセプション	19
7 大会運営計画	20
8 荒天時等計画	21
III 機運醸成・広報計画	
1 機運醸成に向けた取組	22・23
2 広報事業	24
IV 実施スケジュール	
	25

全国豊かな海づくり大会は、これまで、天皇皇后両陛下の御臨席のもとに開催されていることから、「第40回全国豊かな海づくり大会 ～食材王国みやぎ大会～」においても、天皇皇后両陛下の御臨席を想定し、基本計画を作成しています。

I 全体概要

1 大会の概要

■ 大会名称 第40回全国豊かな海づくり大会 ～食材王国みやぎ大会～

■ 主催 豊かな海づくり大会推進委員会※
第40回全国豊かな海づくり大会 宮城県実行委員会

■ 開催時期 令和2年秋季

■ 開催場所 「式典行事」 石巻市 石巻市水産物地方卸売市場
石巻売場
「海上歓迎・放流行事」 石巻市 石巻漁港
「関連行事」 石巻市 ほか（検討中）

■ 行事内容（予定）

（1）式典行事

資源管理や漁場保全等に功績のあった団体の表彰，最優秀作文の発表，漁業後継者の決意表明や大会決議等を行います。

（2）海上歓迎・放流行事

漁業関係者等の協力を得て，海上歓迎パレードを行うとともに，次世代へ豊かな海を継承するため本県の主要な栽培漁業種の稚魚の放流を行います。

（3）歓迎レセプション

大会関係者を招待して歓迎レセプションを行い，本県が誇る農林水産物の食材を豊富に使用した自慢の「食」でおもてなしを行います。

（4）関連行事

大会を記念した絵画・習字等コンクールの入賞作品の展示，本県の水産業や環境保全等の取組の紹介，地場製品の販売等を行い，県内外の参加者に本県の魅力をPRします。

■ 大会テーマ

「よみがえる 豊かな海を 輝く未来へ」

■ 大会キャラクター



「むすび丸」

※豊かな海づくり大会推進委員会

大会運営のために中央に設置されている委員会。最高顧問は衆議院議長，会長は全国漁業協同組合連合会代表理事会長が務めている。

1 全体概要

2 開催意義

宮城県は、東北地方の南東部に位置し、東は太平洋に面し、西部は奥羽山脈、北東部には北上山地、南部には阿武隈山地が連なり四季折々の姿を見せ、中央部の仙台平野には北上川、阿武隈川といった大きな河川が流れ、肥沃な大地は日本有数の穀倉地帯となっています。

また、宮城の海は、世界有数の三陸沖漁場の南方に広がり、沖合には季節ごとに行き交う黒潮、親潮が豊富な海の幸を運んできます。水産業は、豊かな食と生活を実現しながら、固有の風土や文化も育てており、震災以前は、全国第2位を誇る漁業生産量を背景に、全国各地に良質な水産物を安定的に供給する役割を担ってきました。加えて、水産業は漁獲、水揚げ、流通及び加工の各段階で多種多様な産業を構築しており、本県経済、とりわけ沿岸地域の振興に重要な役割を果たしてきました。

しかしながら、平成23年3月11日に東日本大震災が発生し、県内に142ある漁港の全てが被災したほか、本県で営まれている様々な漁業、沿岸部に集積していた流通・加工に関する産業は壊滅的な被害を受けました。これにより、漁業生産量は震災前に比べ半減するとともに、水産加工関連事業所も激減しました。

そこで宮城県では、平成23年度から平成32年度までの10年間で復興を成し遂げるための道筋を示す「宮城県震災復興計画」や、本県水産業の復旧・復興に向けた取組の継続・強化と新たな水産業の創造を視点に「水産業の振興に関する基本的な計画」を策定するとともに、国や全国の民間事業者等から多くの支援を受けながら、県民一体となって早期の復旧・復興に取り組んでまいりました。

こうした中、震災復興計画の最終年度にあたる平成32年度に、本県において「全国豊かな海づくり大会」を開催することは、県内漁業者はもとより水産関連業者の復興に向けた意欲を更に高め、本県水産業の一層の振興・発展にも大きく寄与するものであります。また、東日本大震災で全国の皆様からいただいた数多くの御支援に対する感謝と復興を成し遂げた水産業の姿、そして豊かな自然と歴史有る文化に育まれた宮城の魅力を全国に発信する絶好の機会となります。

3 基本理念

水産資源の保護・管理や海・河川・森の環境保全、災害から復興した漁業や水産加工業により生産された水産物の消費拡大に取り組むことにより、水産業の振興と地域活性化を図るとともに、東日本大震災から復興を果たした姿と宮城県の水産業の魅力を全国に発信します。

1 全体概要

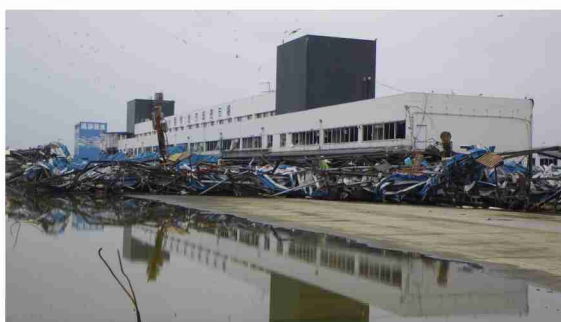
3 基本理念

[東日本大震災からの復興の歩み]

平成23年3月11日午後2時46分に、三陸沖（宮城県牡鹿半島東南東約130km）を震源として発生した地震は、マグニチュード（Mw）9.0を記録し、我が国観測史上最大、1900年以降世界でも4番目に大きい地震となりました。この地震では、栗原市で震度7を記録したほか、県の広い範囲で震度6強から5強といった強い揺れとなり、続いて発生した津波は、三陸沿岸部で10m以上、仙台湾沿岸部でも8～9mの高さとなって押し寄せ、地震による地盤沈下も相まって、内陸部深くまで浸水し、家屋や道路、鉄道、港湾、船舶、養殖施設等に甚大な被害を与えたほか、多くの尊い人命が失われました。

この震災からの復興を目指し、本県では平成23年10月に、今後10年間の復興の道筋を示す「宮城県震災復興計画」を策定し、震災以前の状態へ回復させるという「復旧」だけにとどまらず、これからの県民生活のありかたを見据えて、県の農林水産業・商工業のあり方や公共施設・防災施設の整備・配置などを抜本的に「再構築」することにより、県勢の発展を見据えた最適な基盤づくりを図っていくこととしました。また、同時期に、本県水産業の復興に向けた基本的な考えや方向性を示すとともに、復興の具体的な取組をまとめた「宮城県水産業復興プラン」を策定しました。

全国有数の水揚げを誇った本県水産業も震災により壊滅的な被害を受け、その存続が危ぶまれるまでになりましたが、国や全国自治体、企業、団体などの支援を受けながら水産関係者が一体となって早期の復旧・復興に取り組んだ結果、漁港や魚市場、漁船、養殖施設、生産に必要な共同作業場、水産加工施設はほぼ復旧し、平成29年の海面漁業・養殖業の生産量は約25万トンで全国4位、水産加工品の生産量は約27万トンで全国第3位まで回復することができました。



津波による壊滅的な被害からの『復興』



I 全体概要

4 基本方針

(1) 東日本大震災からの復興状況の発信

県内外から参加した皆様に、被災した沿岸部の基幹産業である水産業が復興した姿や災害に備えた新しいまちづくりが進んできている姿を御覧いただく等、震災からの復興の状況と支援への感謝の気持ちを全国に伝える大会とします。

(2) 豊かな自然環境の保全

宮城県は、複雑な地形を有するリアス式海岸と長大な砂浜海岸が連なり、風光明媚な地形を形成しているほか、沖合には世界三大漁場である三陸沖漁場が広がっています。また、蔵王連峰や船形連峰に連なる山々、東北地方最大の広さを誇る仙台平野とそこに流れる北上川、阿武隈川等の大河川、さらには伊豆沼、内沼等の湖沼をはじめとする豊かな自然環境に恵まれています。

これらの豊かな自然を全国に発信し、自然がもたらす「豊かな恵み」に感謝するとともに、森から河川・湖沼を経て海へと至る自然環境を守り続けていくことを次世代に受け継ぐ大会とします。

[宮城県の地勢]

宮城県は、東北地方の南東部に位置し、北は岩手県と秋田県、南は福島県、西は山形県に接し、東は太平洋に面しています。総面積は7,282km²で、全国16位の広さとなっています。

西の県境には奥羽山脈が南北に走り、その東方にはなだらかな丘陵地帯が分布しているほか、東北部には北上山地、南の県境には阿武隈山地が広がっています。

また、県内には387もの河川があり、そのうち、岩手県から南流する東北最長の北上川、奥羽山脈を水源として多くの支流を伴い東流する鳴瀬川や名取川、福島県から北流する阿武隈川が、それぞれ太平洋に達しています。

海岸線は、リアス式海岸を主体とする三陸南沿岸と砂浜を主体とする仙台湾沿岸に二分しており、それぞれ特徴のある海岸となっています。そして、その沿岸総延長は、約830kmに及んでいます。



蔵王連峰



リアス式海岸

I 全体概要

4 基本方針

(3) 多様な漁業を中心とした水産業の発展と地域の活性化

本県沿岸で営まれる漁船漁業、養殖業を将来にわたって持続させるため、資源管理型漁業や栽培漁業の推進、養殖種苗の安定確保に向け一層取り組むとともに、漁業を支える担い手の確保・育成のほか、各地で水揚げされる多彩な水産物を使った魚食普及や食育活動による水産物の消費拡大に取り組み、宮城の豊かな自然環境を生かした水産業と地域の発展につなげる大会とします。

[宮城県の水産業]

宮城県は、世界三大漁場の一つである三陸沖漁場に近いことから、気仙沼漁港、石巻漁港、塩釜漁港の3つの特定第3種漁港を始めとする142の漁港があります。一つの県に複数の特定第3種漁港を持つのは宮城県が全国唯一で、これらを背景として沖合・遠洋漁業が発達し、カツオ、サンマ、マグロ、メカジキ、サメ類は全国有数の水揚げを誇ります。また、沿岸漁業ではヒラメ、カレイ、イワシ、サバ、シロサケのほか、ガザミ、アカガイといった多様な水産物が水揚げされるのが特徴で、これら豊かな水産物の水揚げを背景とした水産加工業も発展しています。

(4) 食材王国みやぎの発信

宮城県は、海、山、大地が育む食材に恵まれています。特に、全国有数の水産県である本県は、沿岸及び沖合・遠洋漁業により水揚げされる多種多様な水産物やノリ、カキ、ワカメ、コンブ、ホタテガイ、ホヤ、ギンザケに代表される養殖物があり、地域ごとに特色ある食文化をつくり出しています。また、水揚げされた水産物を利用した水産加工品の生産も盛んであることから、本県自慢の「食」の魅力を全国に発信する大会とします。

[食材王国みやぎ]とは

宮城県では「食」にかかわる産業を充実させるための食関連情報ネットワークの整備や食材アピールのためのイベント開催、安全・安心な食料供給の推進などの官民一体となった様々な取組を通じて、全国の皆さんから「食」といえば「みやぎ」というイメージを抱いてもらえるよう『食材王国みやぎ』の確立を目指しています。



プレミアムブランド米
「だて正夢」



宮城県初 GI 登録
「みやぎサーモン」



銘柄牛のトップブランド
「仙台牛」

II 大会計画

1 全体計画

(1) 計画概要

■ 基本的な考え方

東日本大震災から復興を果たした姿と本県水産業の魅力、森から河川、湖沼を経て豊かな海へとつながる自然環境を守り続けていくことの大切さを、全国に発信する大会とします。

また、海・山・大地の豊かな自然が育む恵まれた食材と自慢の「食」、歴史・文化に培われた本県の魅力を満喫できる多彩な展示・催事等を展開し、宮城ならではの心のこもったおもてなしで、県内外からの来場者をお迎えします。

■ 行事構成

> 式典行事

資源管理や漁場保全等の豊かな海づくりのために功績のあった団体の表彰、最優秀作文の発表、漁業後継者のメッセージや大会決議等を行います。

> 海上歓迎・放流行事

漁業関係者の協力を得て、漁船等による海上パレードを行うとともに、次世代へ豊かな海を継承するため、それぞれが願いを込めて、本県の栽培漁業を代表する稚魚の放流を行います。

> 関連行事

県内外からの来場者に、本県の水産業や豊かな海づくりにつながる漁場環境保全等に向けた取組を広く紹介します。また、大会を記念した絵画・習字等コンクールの入賞作品の展示、ステージイベント、本県自慢の「食」（地場産品）の販売等を行い、本県の魅力を満喫していただきます。



II 大会計画

1 全体計画

(2) 会場配置

■ 基本的な考え方

会場となる施設、敷地の形状、設備、景観とともに式典行事、海上歓迎・放流行事を同一敷地内で開催する利点を最大限に活かし、すべての来場者に安全・安心で快適な空間と豊かな海を実感していただけるような会場配置とします。

➤ 式典行事 【石巻市水産物地方卸売市場石巻売場「西棟」特設会場（石巻市）】

東洋一の施設規模を誇る既存施設の広さや空間、立地条件を最大限に活かし、宮城らしい演出で式典行事を行います。

➤ 海上歓迎・放流行事 【石巻漁港（石巻市）】特定第3種漁港※

本県の海岸線のほぼ中央に位置し、三陸海岸の最南端に位置する牡鹿半島を望む風光明媚なロケーションを活かし、全国最長の岸壁と水面を利用して海上歓迎行事と放流行事を行います。

➤ 関連行事 【石巻市 ほか（検討中）】

水産業に関する企画展示やステージイベント、ふれあい体験、物産販売エリアなどで構成し、宮城の魅力を発信する会場づくりを行います。

■ 会場配置図



※特定第3種漁港とは

「漁港漁場整備法」で定める第3種漁港のうち、水産業の振興上特に重要な漁港で政令で定めるもの（全国13漁港）。

II 大会計画

1 全体計画

(3) 行事計画

■ 基本的な考え方

- 各行事のタイムスケジュールに従い、招待者及び来場者の移動がスムーズに行えるよう、安全面、機能面を十分に考慮した計画とします。
- 式典行事会場、海上歓迎・放流行事会場を同一敷地内で行う利点を生かし、豊かな海づくりを実感できる一体感のある演出を行います。また、大型映像装置を活用した映像中継等を行います。

■ 行事構成

会場		式典行事会場 石巻市水産物 地方卸売市場 石巻売場「西棟」	海上歓迎・ 放流行事会場 石巻漁港	関連行事会場 石巻市 ほか（検討中）	歓迎レセプション 会場 （検討中）
第一 日 目	9:00	総合リハーサル	総合リハーサル	関連行事 ・企画展示 ・ステージイベント ・ふれあい体験 ・物産販売	絵画・習字 作品御覧 歓迎レセプション
	17:00				
第二 日 目	10:00	開場 プロローグ		関連行事 ・企画展示 ・ステージイベント ・ふれあい体験 ・物産販売 式典行事中継 海上歓迎・ 放流行事中継	
	12:00	式典行事			
	15:00		海上歓迎・ 放流行事		
	17:00				

※行事構成及び詳細な時間は、関係機関等と協議の上、実施計画で作成します。

II 大会計画

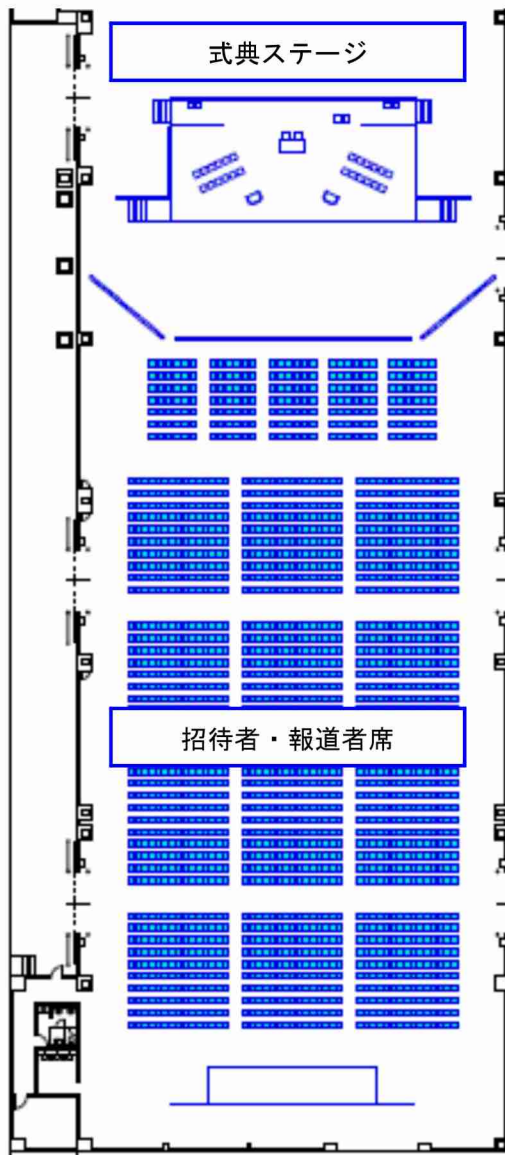
2 式典行事

(1) 会場配置

■ 基本的な考え方

会場となる石巻市水産物地方卸売市場石巻売場「西棟」の施設形状、空間、設備を最大限に活かしてステージ、招待者席等を配置します。また、安全・安心に配慮するとともに、全ての来場者の方々が快適と感じられるような会場づくりを計画します。

《会場構成・イメージ図》



石巻市水産物地方卸売市場石巻売場



高知県（平成30年）での実施状況

※具体的なエリア分けは、実施計画で作成します。

II 大会計画

2 式典行事

(2) 行事計画

■ 基本的な考え方

厳粛で品位のある進行を基本に、豊かな海や自然を守り続けていくことの大切さ、東日本大震災から復興を果たした姿と本県水産業の魅力をも、全国に発信する内容とします。

また、これまで豊かな海づくりのために実践してきた栽培漁業、資源管理型漁業や環境保全活動を紹介し、大会を通じて「豊かな恵みの海」を未来へ守り続けていくことを誓う場とします。

■ 日 時 令和2年秋季の日曜日（午後）

■ 場 所 石巻市水産物地方卸売市場石巻売場「西棟」《特設会場》



大会旗入場



功績団体などの表彰



稚魚などのお手渡し



次期開催県への大会旗引継

高知県（平成30年）での実施状況

II 大会計画

2 式典行事

■ 演出計画

進 行	内 容 ・ 出 演 者 等
プロローグ	宮城県紹介映像, 伝統芸能 等
御臨席	御先導: 宮城県知事
大会旗入場	旗 手: 県内高等学校生徒 等 先 導: 鼓笛隊 等
開会のことば	宮城県漁業協同組合経営管理委員会会長
国歌斉唱	吹奏楽 等
主催者あいさつ	全国豊かな海づくり大会会長 (衆議院議長) 宮城県実行委員会会長 (宮城県知事)
歓迎のことば	石巻市長
表彰 (功績団体等)	全国豊かな海づくり大会会長賞 農林水産大臣賞 環境大臣賞 水産庁長官賞 宮城県知事賞
最優秀作文の発表	全国豊かな海づくり大会会長賞の受賞者代表
稚魚等のお手渡し	お受取: 水産関係者 介添え: 県内高等学校生徒 等
海づくりメッセージ	漁業後継者等によるメッセージ
大会決議	豊かな海づくり大会推進委員会会長 (全国漁業協同組合連合会代表理事会会長)
大会旗引継	宮城県知事から兵庫県知事 (次期開催県知事) へ引継
次期開催県あいさつ	兵庫県知事
閉会のことば	宮城県議会議長
御退席	御先導: 宮城県知事

※演出計画は、関係機関等と協議の上、調整・決定します。

II 大会計画

3 海上歓迎・放流行事

(1) 会場配置

■ 基本的な考え方

全国有数の漁港である石巻漁港において、漁業活動や海の豊かさを実感できるロケーションを活かし、海上歓迎行事と放流行事を開催します。また、式典行事会場と隣接していることから、できるだけ多くの招待者の皆様にも放流行事に参加していただきます。

なお、御放流所は、御放流の様子が招待者及び報道関係者から見やすいように設置します。



※詳細な配置計画は実施計画で作成します。

■ 御放流所

御放流所は、周辺の景観を損なわないように配慮しながら、万一の風雨の影響を最低限に抑えられるよう、十分な屋根の大きさを確保します。また、御放流所の材料は、環境に配慮するとともに、可能な限り県産木材（CLT※等）を用いることとします。



※CLTとは
Cross Laminated Timberの略称で、ひき板
(ラミナ)を並べた後、繊維方向が直交す
るよう積層接着した木質系材料。

高知県（平成30年）での放流行事会場

II 大会計画

3 海上歓迎・放流行事

(2) 行事計画

■ 基本的な考え方

宮城県の代表的な漁法紹介（漁船による海上パレード）等で招待者を歓迎します。
また、稚魚の放流を通じて海への感謝の心を醸成し、次の世代へ豊かな海を継承します。

■ 日 時 令和2年秋季の日曜日（午後）

■ 場 所 石巻漁港

■ 演出計画

進 行	内 容 ・ 出 演 者 等
歓迎演奏	吹 奏 楽 等
会場御着～御放流所へ御移動	御 先 導：宮城県知事
海上歓迎	漁船等による漁法紹介（海上パレード）
第1回放流	介添え者：県内高等学校生徒 等
第2回放流	介添え者：県内高等学校生徒 等
御放流所から御移動～会場御発	御 先 導：宮城県知事



高知県（平成30年）での実施状況

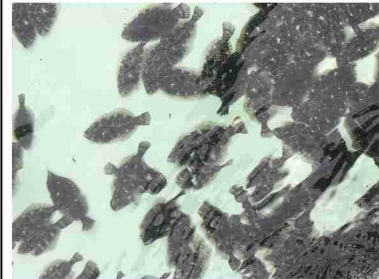
II 大会計画

3 海上歓迎・放流行事

■ 御放流魚種（海上歓迎・放流行事会場で放流）

➤ ヒラメ

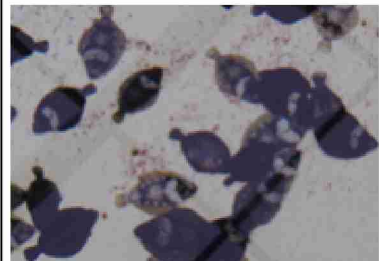
- ・日本列島沿岸や朝鮮半島に広く分布し、最大で全長1m、体重10kgになる。
- ・刺身や寿司ネタにされる高級魚で、えんがわは特に美味である。
- ・本県では、主に小型底びき網、刺網漁業や釣りで漁獲され、沿岸漁業の重要な対象種となっており、近年では、全国1位の漁獲量を誇る。
- ・栽培漁業対象種として20年以上、種苗放流が継続され、全長制限による資源管理型漁業の取組も行われている。



ヒラメ稚魚

➤ ホシガレイ

- ・北海道南部以南の日本沿岸に分布する。
- ・本県では、仙台湾が主な漁場で刺網漁業や釣りで漁獲される。
- ・カレイの中でも特に高級な種類で、旬の夏～冬の時期は高値で取引される。
- ・栽培漁業対象種として、種苗生産、放流技術の確立に向けた取組や全長制限による資源管理型漁業の取組も行われている。



ホシガレイ稚魚

II 大会計画

3 海上歓迎・放流行事

■ お手渡し魚種（式典行事会場で手渡され後日放流）

《イワナ》

- ・ 県内河川の上流域に生息し、遊漁者からの人気も高い魚である。
- ・ 山間部では、養殖業が古くから行われ、県内水面水産試験場が開発した「伊達いわな」（全雌三倍体）は、お刺身で美味しく食べられることから、内水面の新たな特産品として期待されている。



《マガキ》

- ・ 本県では、約300年前に松島湾で養殖が始められ、現在では、全国第2位の生産量を誇り、主に生食用として流通している。
- ・ また、本県は、養殖用種ガキの生産県として有名で、全国各地に出荷されている。



《エゾアワビ》

- ・ 本県沿岸の唐桑半島から牡鹿半島周辺及び松島湾外海の岩礁地帯に生息する。
- ・ 磯根資源として大変重要な種であるが、近年漁獲量が減少傾向にある。
- ・ 資源保護のため、9cm以下の採捕禁止措置が講じられており、県内各地で種苗放流が積極的に行われている。



《ノリ》

- ・ 本県のノリ養殖業は、仙台湾で行われており、養殖の産地としては、国内で最北に位置している。
- ・ 親潮の恵みを受け育てられた本県のノリは、「寒流のり」とブランド化され高い評価を得ているほか、毎年開催される品評会で最高位を受賞したノリは、代々皇室に献上されている。



II 大会計画

4 関連行事

(1) 会場配置

■ 基本的な考え方

水産業に関する企画展示やステージイベント、ふれあい体験、物産販売エリアなどで構成し、宮城の魅力や東日本大震災で全国の皆様からいただいた数多くの御支援に対する感謝のメッセージを発信することを目的として関連行事を開催します。また、これらの行事の開催に当たっては、県内各地の農林水産まつりなどの各種イベントとの連携を図っていきます。

(2) 行事計画

■ 企画展示エリア 《パネル展示・映像で紹介》

復興を果たした水産業の姿や豊かな海を守り育て、次の世代に引き継いでいくことの大切さなどを広く発信する構成とします。

- 東日本大震災から復興までの歩み
- 水産業の特色や漁法
- 放流魚種をはじめとしたミニ水族館
- 環境保全に向けた取組の紹介 など

■ ステージイベントエリア

式典行事や海上歓迎・放流行事の映像中継により各行事との一体感を醸成するとともに、歴史ある伝統芸能や著名人によるトークショー、料理人による県産食材を使用したキッチンライブショーなどのアトラクションを展開し、多くの方々に楽しんでもらえるような構成とします。

■ ふれあい体験エリア

魚のタッチングプールなど海の生き物と触れ合えるコーナーや海藻おしばづくりなどの体験を通して、海の環境保全の大切さを楽しんで学べるような構成とします。

■ 物産販売エリア

宮城の地場産品等を広くアピールし、宮城の歴史ある食文化や多彩な食材が堪能できる「食材王国みやぎ」を楽しんでいただけるような構成とします。



高知県（平成30年）での実施状況

II 大会計画

5 映像中継計画

■ 基本的な考え方

式典行事会場、海上歓迎・放流行事会場及び関連行事会場において、一体感のある演出を行うため、大型映像装置等を活用した映像中継を行います。

➤ 式典行事会場 【石巻市水産物地方卸売市場石巻売場「西棟」特設会場（石巻市）】

会場に大型映像装置を設置して、プロログの演出や式典遂行に必要な映像の放映を行います。

➤ 海上歓迎・放流行事会場 【石巻漁港（石巻市）】

招待者の皆様に天皇皇后両陛下の御放流の模様を御覧いただけるように、映像装置を会場内に設置します。

➤ 関連行事会場【石巻市 ほか（検討中）】

来場者に大会の模様を御覧いただけるように、式典行事及び海上歓迎・放流行事の映像を中継します。

■ 中継システムイメージ図



II 大会計画

6 その他の行事

(1) 絵画・習字優秀作品御覧

■ 内 容

全国豊かな海づくり大会を記念して、県内の児童・生徒を対象に絵画・習字コンクールを実施し、優秀作品を御覧いただきます。

■ 次 第

進 行	内 容 ・ 出 演 者 等
御 着	御先導：宮城県知事
絵画・習字優秀作品御覧	御説明：宮城県教育委員会教育長 受賞者：宮城県知事賞（絵画部門・習字部門）
御 発	御先導：宮城県知事



高知県（平成30年）での実施状況

II 大会計画

6 その他の行事

(2) 歓迎レセプション

■ 内容

大会前夜に歓迎レセプションを開催し、宮城の海で獲れた魚介類をはじめとする本県の農林水産物を豊富に使用した自慢の「食」でおもてなしをします。

■ 次第

進 行	内 容 ・ 出 演 者 等
御 着	御先導：宮城県知事
開宴のことば	宮城県副知事
主催者挨拶	宮城県知事
乾 杯	全国豊かな海づくり大会会長（衆議院議長）
御歓談	
御退席	御先導：宮城県知事
御歓談	
終宴の挨拶	宮城県議会議長



高知県（平成30年）での開催の様様

II 大会計画

7 大会運営計画

■ 基本的な考え方

- ・すべての来場者の安全を確保するとともに、心のこもったサービスを提供します。
- ・大会を円滑に推進するため、事前に関係機関、関係団体との綿密な情報交換・調整を行います。

■ 計画概要

➤ 運営体制

- ・おもてなしの精神ときめ細やかな心配りのもと、県、関係市町、関係団体が協力し合いながら来場者の心に残る大会運営に努めます。
- ・障がい者、高齢者への配慮とともに、環境への負荷を軽減し、「人と環境にやさしい」運営に努めます。

➤ 緊急時対応

- ・警察、海上保安庁、消防、医療機関等の関係機関、関係団体との連携を密にし、事故防止や非常時の迅速な対応に努めます。
- ・海の近くで開催されることを念頭に置き、地震などの災害や悪天候の対応として、情報収集と避難誘導を迅速かつ的確に行える体制づくりを行います。

➤ 県民参加

- ・県民との協働を目指し、会場周辺の美化などへの積極的なボランティア参加を呼びかけます。

II 大会計画

8 荒天時等計画

■ 基本的な考え方

台風による荒天時や地震、津波等の災害、火災、その他の突発的事案が発生した場合には、大会行事の開催可否を決定するため、判定会議を開催します。

判定会議は、気象状況や災害、突発的事案の情報収集、整理を行い、専門家の意見を踏まえた上で、実施の可否を判断することとします。

なお、大会行事の実施、変更、判断基準は、実施計画で詳細を定めます。

■ 荒天時の実施内容

判定会議において、荒天や災害、その他の突発的事案により海上歓迎行事の実施が困難であると判断した場合には、荒天時計画（A）に変更し、行事を実施します。

さらに、放流行事の実施も困難であると判断した場合には、荒天時計画（B）に変更し、式典行事を実施します。

なお、台風や地震、津波により、招待者や来場者の会場への移動に危険が伴うと判断した場合には、全ての行事を中止します。

（1）荒天時計画（A）

行事名	内 容
式典行事	計画どおり実施
海上歓迎行事	中止
放流行事	計画どおり実施

（2）荒天時計画（B）

行事名	内 容
式典行事	計画どおり実施
海上歓迎行事	中止
放流行事	中止

III 機運醸成・広報計画

1 機運醸成に向けた取組

■ 基本的な考え方

大会開催に向け、1年前プレイベントを始めとする行事開催を通して、全県的な機運醸成を図るとともに、県内外からの招待客をお迎えするため、地域と一体となった盛り上がりを創出します。また、稚魚の放流、海岸清掃などの「豊かな海づくり活動」を通じて、子供から大人まで幅広い県民に環境保全の大切さを理解していただくとともに、大会開催後も本活動が県内全域に県民運動として定着するよう努めます。

■ 機運醸成に向けた取組

◆ 1年前プレイベント・関連イベント

『第40回全国豊かな海づくり大会 ～食材王国みやぎ大会～』

本大会の1年前に、開催趣旨の周知と大会の開催に向けた機運の醸成を図るため、県内外の招待者や地元の方々の参加のもと「海上歓迎・放流行事会場」となる石巻漁港において、1年前プレイベントを開催します。

なお、本イベントでは、漁船による海上パレードや関係者による稚魚の放流を実施するなど、本大会を検証する機会とします。また、地元のイベントと連携し、子供から大人まで楽しめる関連行事も行います。

《日 時》令和元年秋季（大会期日の約1年前）

《場 所》石巻市（石巻漁港、石巻市水産物地方卸売市場石巻売場）

《内 容》（1）アトラクション（地元伝統芸能等）

（2）漁船による海上パレード

（3）稚魚の記念放流

（4）企画展示、体験コーナー、ステージイベントなど

『「みやぎまるごとフェスティバル2019」・「豊かな海づくりフェスタ（仮称）」』

県民への開催趣旨の周知と大会の開催に向けた機運の醸成を図るため、県産品の消費拡大及び地場産業の振興を図るため開催されるイベントと連携し「豊かな海づくりフェスタ（仮称）」を開催します。」

《日 時》令和元年10月19日（土）、20日（日）

《場 所》仙台市（勾当台公園、市民広場など）

《内 容》大会PRに関する企画展示、体験コーナー、地場産品等の販売など

III 機運醸成・広報計画

1 機運醸成に向けた取組

◆ 豊かな海づくりキャラバン

海や魚に関連したイベントや集客力の高いイベントと連携を図り、機運醸成を図ることを目的としたキャラバンを、県内全域で継続的に展開するとともに、大会当年度はカウントダウンイベントとしても展開します。

《期 日》 通年（大会開催年まで） 《会 場》 県内全域

例：どっと祭（塩竈市）、いしのまき大漁まつり（石巻市）など

◆ 水産資源の保護と教育

『大会記念リレー放流』

本県の海面及び内水面の各漁協、市町村等の協力のもと、園児・児童等による稚魚の放流を実施します。

《期 日》 4月～10月頃（大会開催年まで） 《会 場》 県内全域

『魚食・食育普及活動』

子供達に魚を「見る・触れる・食べる」機会を提供し、魚を身近に感じ興味をもってもらいながら、水産資源の保護、環境教育や家庭での魚食普及を図ることを目的に開催します。

《期 日》 通 年 《会 場》 県内全域

例：「みやぎ水産の日」と連携した魚食普及活動や子供食堂への食材提供など

◆ 海づくり大会協賛行事の募集（令和元年度～）

企業、市民団体などが実施する植林・育林活動や河川・海浜清掃活動など、豊かな海づくりにつながる事業を大会協賛行事として募集し、豊かな海づくりへの意識向上や水産業に対する理解促進を図るとともに、大会の開催に向けた機運を高める取組を行います。



高知県での大会記念リレー放流

III 機運醸成・広報計画

2 広報事業

■ 基本的な考え方

大会テーマ、大会キャラクターを活用しながら、大会関連情報について各種媒体を通じて積極的かつ効果的な広報活動を展開していきます。

■ 広報事業

(1) 「第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会」への参加

秋田県で開催される「第39回全国豊かな海づくり大会」(令和元年9月7日、8日)に参加し、大会招待者などへ次期開催の周知を図るとともに、豊富な水産物を始め本県の魅力をPRします。

(2) 大会テーマ、キャラクター等による広報

全国公募により大会テーマを制定し、その普及を図るとともに、大会専用コスチューム(法被)を身にまとった仙台・宮城観光PRキャラクター「むすび丸」を活用したPR活動を展開します。

- ・大会テーマ、大会キャラクターを活用した大会PRグッズの作成・配布
- ・大会キャラクターを活用した各種イベント等でのPR など

(3) 印刷物による広報

各種印刷物や既存の広報誌等を活用した広報活動を展開します。

- ・大会公式ポスター、リーフレットの作成・配布
- ・県、市町村等の広報誌の活用など

(4) 多様なメディアによる広報

報道機関への情報提供やインターネット等の多様なメディアの活用により、大会に関する情報を迅速かつ広域的に発信します。

- ・県の広報番組(テレビ、ラジオ)等の活用
- ・大会ホームページでの情報発信 など

(5) コンクール実施による広報

豊かな海づくり大会推進委員会との共催により、作文・絵画・習字のコンクールを行い、大会の開催意義を広く啓発します。

(6) 屋外広告物等による広報

懸垂幕や横断幕・カウントダウンボード等の設置により、大会の開催について広く周知します。

(7) 大会記念誌等の制作

開催までの取組や大会当日の模様を記録し、大会記念誌及び記念映像を制作します。

IV 実施スケジュール

実施スケジュール

年度	月	大会開催計画	機運醸成・広報計画	
平成 30	2			
	3	実行委員会《基本計画決定》		
令和 元	4	実施計画の検討	ホームページ・ポスター等によるPR 豊かな海づくりキャラバン・カウントダウンイベント 県内企業・団体等による大会協賛行事の募集・実施 大会記念《稚魚リリース放流》《魚食・食育普及活動》の実施	
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			あきた大会でPR (9月7・8日)
	10			《開催期日決定(予定)》 1年前プレイベント
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			実行委員会《実施計画決定》
令和 2	4	大会実施本部の設置	大会記念作品募集開始 (作文・絵画・習字)	
	5	運営マニュアル作成等	《200日前イベント》	
	6		《100日前イベント》	
	7			
	8			
	9	1か月前総合リハーサル		
	10	前日総合リハーサル		
	11	第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～		
	12			
	1			
2				
3	実行委員会《解散総会》	大会実績報告書等作成		



大会キャラクター
「むすび丸」

～食材王国みやぎ大会～

第40回全国豊かな海づくり大会宮城県実行委員会

—令和元年5月（改訂）—

— 事務局 —

宮城県水産林政部全国豊かな海づくり大会推進室

〒980-8570

宮城県仙台市青葉区本町3丁目6番16号

宮城県本町分庁舎※漁信基ビル 5階

TEL 022-797-6440 FAX 022-797-6470